

第60回岐阜県消防操法大会開催！

〈損斐川町消防団（損斐分団）が健闘！〉

8月7日（日）、真夏の太陽が照りつける晴天の下、岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場（恵那市）で、「消防感謝祭」第60回岐阜県消防操法大会が開催され、損斐郡の代表として損斐川町消防団（損斐分団）が出場しました。

大会には県内の42消防団から各地区の大会で選ばれた29隊174人が出場し、関係者など約6000人が来場しました。

競技種目はポンプ車操法で、消火技術の正確さや早さを競い、どの隊も訓練の成果を存分に発揮したレベルの高い大会となりました。

大会の結果は次のとおりです。

- 優勝 恵那市消防団A
- 準優勝 美濃加茂市消防団
- 優秀賞 恵那市消防団B
- 中津川市消防団
- 瑞浪市消防団
- 本巣市消防団
- 垂井町消防団
- 下呂市消防団
- 瑞穂市消防団
- 大垣市消防団
- 損斐川町消防団
- （全体で12位）



▲損斐分団の皆さん みんなで支え合い頑張りました



▲訓練の成果を存分に発揮しました

生き物調査「田んぼの学校」

〈谷汲小学校〉

7月6日（水）、谷汲小学校3年生の児童31人が、谷汲深坂にある四ツ谷沼ビオトープ公園で生き物や水質の調査を行う「田んぼの学校」に取り組みました。

児童たちは、県野生生物保護推進員の國枝久夫さん（谷汲岐礼）の指導のもと、公園内に生息する生き物を調査しました。また、水質検査では、四ツ谷沼が生物の多様性に適していることを確認しました。

7月13日（水）には、谷汲小学校で振り返り学習が行われ、児童たちは、國枝さんに生き物や環境について様々な質問をして、多様な生物が生息する環境の大切さについて学びました。



▲生き物調査の様子（四ツ谷沼ビオトープ公園）

MSリーダーズ清掃活動

〈マナー向上で地域を美しく〉

7月6日（水）、県立損斐特別支援学校（谷汲深坂）高等部の生徒21人が、登下校で利用する損斐川町三輪の本損斐バス停と養老鉄道損斐駅で、清掃奉仕活動を行いました。

「マナーズ・スピリットリーダーズ」と呼ばれるこの活動は、清掃活動を通して地域に貢献し、奉仕の心を持つことを目的として、地域社会のマナー向上を目指しています。

清掃活動に参加した生徒は、「普段、自分たちが利用している駅やバス停を清掃することで、施設を美しく保ち、公共交通機関を利用する全ての人に気持ち良く使っていただきたい。」と話しました。



▲清掃活動の様子（養老鉄道損斐駅前）

揖斐警察署・揖斐郡消防本部
合同水難救助訓練

7月6日(水)、前島橋上流の揖斐川で、夏に多発する川の水難事故に備え、揖斐警察署と揖斐郡消防組合消防本部が合同で水難救助訓練を実施しました。

訓練は、水難救助における態勢とお互いの連携を強化することを目的としており、警察署員と消防署員計36人が参加しました。

揖斐川の増水により、釣り人4人が中州に取り残されたという想定で実施された訓練では、ゴムボートで釣り人の救助に向かい、県防災ヘリも駆け付け、中州に取り残された人の救助を実施しました。



▲水難救助訓練の様子(揖斐川にて)

小学生県外研修派遣認定式
～農業体験・漁業体験で交流～

7月13日(水)、揖斐川町役場で小学生県外研修派遣事業の認定証交付式が行われました。

今年度の研修に参加する児童は、町内小学生20人で、研修先は、友好都市提携を結んでいる北海道芽室町と地域に開かれたダム全国連絡協議会などで交流を深めている高知県宿毛市です。

児童たちは、高知県の漁業や北海道の農業などを体験して、現地の人々と交流を深めます。

派遣団の児童は、「岐阜には海がないので、宿毛市での研修では、海や漁業のことを学びたいです。」と話しました。

また、宗宮町長は、「研修で色々なことを学び、揖斐川町の良さに気づき、県外に伝えてほしい。」と激励しました。



▲研修に向けて抱負を発表する児童

FBC春花壇受賞報告
～岐阜県知事賞 小島小学校～

花壇づくりを通して自然を愛する心を育て、地域社会の美しい環境づくりを推進することを目的として、学校花壇の出来栄を競う「フrawワール・プラポー・コンクール(FBC)」の受賞報告が、7月15日(金)に揖斐川町役場で行われました。

FBC春花壇で、岐阜県知事賞を受賞した小島小学校は、パンジーやビオラなどで、いくつもの円を描き、花で「友情の輪」を作り出し、色とりどりの花を使ったデザインで「協調しあえる学校を目指す」という誓いを表現しました。

報告に訪れた児童は、「冬の寒さで花の苗の成長が遅れたので心配しましたが、みんなで草取りや水やりを頑張りました。」と話しました。受賞おめでとうございます。



▲受賞おめでとうございます

夜叉ヶ池伝説道中まつり
～伝説の龍神が舞う～

夜叉ヶ池伝説道中まつりが、7月23日(土)、遊らんど坂内特設会場で行われ、家族連れなど、およそ2000人が集まりました。

このまつりは、約1200年前から伝わる夜叉ヶ池伝説を再現する創作音楽劇をメインイベントとして、ステージでは、よさこい、沖繩三味線、太鼓演奏などが行われ、訪れた皆さんを楽しませていました。

夜叉ヶ池伝説は、美濃の国神戸(現在の神戸町)の郡司が、恵みの雨の返礼に娘を夜叉ヶ池にすむ龍神に嫁がせたという話です。創作音楽劇には、坂内小中学校の児童生徒や地元住民ら総勢60人が出演し、夏の夜に幻想的な伝説が蘇りました。



▲龍神と夜叉姫



▲春日「天空の古来茶」を味わう人々

7月24日(日)、道の駅「星のふる里ふじはし」(東横山)で、道の駅「星のふる里ふじはし」15周年記念イベント第1弾として、「天空の古来茶お披露目会」が行われました。

天空の古来茶は、春日地区で生産される在来茶で、700年以上前から品種改良がされていない希少なお茶です。在来茶は、香り高く上品な飲み心地で、洗練されたその味は、自然の美しさと地域の温もりの表れでもあります。

日本でも数パーセントしか残されていない在来茶。生産個数は少なく希少な商品です。揖斐川町の新たな特産品として誕生しました。

特産品お披露目会

「春日「天空の古来茶」



▲いびの大豆まるごとドーナツ
5個入り400円です

7月26日(火)、商工会女性部が揖斐川町産の大豆を使ったドーナツを商品化し、販売が開始されたこの日、揖斐川町役場に商品の開発報告に訪れました。

今回開発された商品は、「いびの大豆まるごとドーナツ」で、揖斐川町商工会女性部と(有)弓削銘水堂(岡島)が、共同開発し、1年半の歳月をかけて商品化しました。大豆の食物繊維が豊富で、もっちりとした食感です。

このドーナツは、一部の商工会女性部員の店で取り扱われるほか、町内観光施設や各種イベントでも販売されます。市田セツ子部長は、「将来的には、インターネット販売にも対応したい。」と話されました。

商工会女性部が商品開発

「揖斐の大豆を使って」



▲芽室町の児童生徒と交流を深めました

揖斐川町と友好都市提携を結んでいる北海道芽室町の小中学生14人が、7月26日(火)から29日(金)にかけて、揖斐川町などを訪れ、7月27日(水)には、春日小学校の全校児童44人と交流しました。

春日小学校体育館で行われた交流会では、お互いに地域の特色や学校での活動を紹介し、春日小学校の児童は、合唱やよさこいソーランを披露して、来校を歓迎しました。

その後、春日小学校の3年生が総合的な学習の時間に取り組んでいるお茶づくりで採れた春日茶や春日紅茶、どくだみ茶などが振る舞われました。

北海道芽室町と学校間交流

「互いに知り合い深まる友情」



▲品評会の様子

7月28日(木)、久瀨公民館で、久瀨花き生産組合主催による「第12回久瀨花き品評会」が開催されました。小菊49点、しきみ31点が出品され、色や形、つや、商品性などを基準に審査をしました。

岐阜県知事特別賞は、小菊を出品された、村瀬佐一さんが受賞されました。

そのほかの入賞者は次のとおりです。

■切花の部(小菊)
金賞(町長賞) 安藤 みつの
銀賞(岐阜生花市場協同組合理事長賞) 山本 友之
銅賞(いび川農業協同組合長賞) 五十川 武美
増元 正吾

奨励賞
■枝物の部(しきみ)
金賞(議長賞) 高橋 努
銀賞(揖斐農林事務所長賞) 村瀬 佐一
銅賞(久瀨花き生産組合長賞) 河合 三郎
鳥井 平二

第12回久瀨花き品評会開催

中学生議会開会

「誇りと自覚をもって」

8月4日(金)、揖斐川町役場議場で、中学生議会が行われ、町内6校から中学生議員19人が参加しました。

今回の中学生議会の議長は、揖斐川中学校の細野恵未奈さんで、議会では、中学生憲章具現化への取り組みの報告や、わが郷土の誇りの発表、誇りある揖斐川町をより発展させるための町への質問や提言がありました。

閉会の挨拶で、議長を務めた細野さんは、「近い将来、揖斐川町を担うこととなりますが今日の経験を忘れることなく、揖斐川町民として誇りと自覚をもって生きていきたい。」と話しました。



▲中学生憲章具現化への取り組み発表の様子

揖斐高校サマースクール開催

「中高一貫教育連携企画」

8月2日(火)から5日(金)の4日間、揖斐高校で「サマースクール」が開催されました。

これは、連携型中高一貫教育の取り組みの一つとして、連携中学校である揖斐川中・北和中の3年生を対象として、生徒が高校入試に向けて意識を切り替えるきっかけとなるとともに、揖斐川町の生徒の学力向上に資するよう企画されたものです。

4日間に延べ231人の生徒が参加し、国語・社会・数学・理科・英語の入試予想問題にチャレンジしました。中学校と高校の先生から、問題の解き方やポイントについて、丁寧な解説を受け、中学校での学習の復習を行いました。生徒は高校入試に向けて気持ちを新たにしていました。



▲丁寧な指導と解説が行われました

いびがわの祭り開催

「4000発の花火が夜空を彩る」

8月7日(日)、いびがわの祭りが揖斐川河畔、栄町商店街通りを中心に開催されました。

この日は、旬の店の朝市や商工会のバザーなども行われ、約7万人のお客で賑わいました。

恒例となっている「民踊流しおどり」では、いびがわの祭りのマスコットキャラクターである「かつぱの河太郎&めぐみ」も参加して夏の祭りの雰囲気盛り上げていました。

メインイベントの花火では、皆さんの願いを込めたメッセージが貼られた花火玉、約4000発が夜空に打ち上げられ、訪れた多くの皆さんを魅了していました。



▲4000発の花火が夜空を彩りました



▲かつぱの河太郎&めぐみも大人気でした